校長室

『校長 EBI 日誌 ⑯』



朝夕の空気がだいぶひんやりしてきましたね。11 月に入り、今年も残すところ２か月を切りました。今月も授業観察期間が続き、教場に日々お邪魔しています。

今日は音楽のＹ先生から声を掛けてもらい、音楽Ⅰの授業を見に行きました。１年生の音楽選択者はヴァイオリンの演奏を学びます。左の写真で生徒の前に立つのはＹ先生と、外部講師で来ていただいたＴ先生です。Ｔ先生は素晴らしい経歴をお持ちのヴァイオリニスト、生徒にとってプロの方に教えていただける、貴重な機会となりました。



講師紹介の後、Ｙ先生のピアノとの合奏・モッティの「チャルダッシュ」を、生徒とともに堪能しました。特に超絶技巧の繰り広げられる後半は、全員がくぎ付けに。音楽室がコンサートホールとなり、拍手とどよめきで一杯になりました。本物に触れる機会をいただき、Ｔ先生、Ｙ先生に感謝です。

生徒は「カノン」の個人練習に入り、隣の美術室に分かれてグループレッスンを受けました。生徒が楽器を手にする姿の凛々しさには、思わず唸った私です。幾人かの先生方も音楽室に顔を出してヴァイオリンに触れる、豊かな時間となりました。

家庭科のＳ先生にお願いした授業観察は、２年生の調理実習でした。単元は「食生活をつくる」。生徒は 50 分という限られた時間で「ワッフル・シナモンりんご添え」を協働しながら手際よく調理し、食事後の片付けまで済ませます。調理室に入ると、早い班がちょうど食べ始めるところでした。「おいしいです！」と笑顔の生徒たちに今回のポイントを尋ねると、「生クリームが肝要」とのこと。片付け中の生徒は「今バターが高いので、今回とても幸せだった」と楽しそうに話していました。テキパキと動く生徒たち。エプロン姿も新鮮です。

実習は安全に配慮しながらも、時間との闘いです。Ｓ先生は調理室内を縦横無尽に踊るように動き、それは見事でした！



【令和８年１１月６日】